

CallManager Express での Cisco Jabber for Windows の設定例

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[HTTPS 設定](#)

[音声レジスタ プールの設定](#)

[SIP CME の設定変更の適用](#)

[Jabber for Windows のインストール](#)

[Jabber へのログイン](#)

[既知の問題：証明書エラー](#)

[警告](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco CallManager Express (CME) バージョン 10.0 で導入された新しい機能について説明します。これには、Cisco Jabber for Windows に対するサポートが含まれます。Jabber アプリケーションは、「[電話限定モード](#)」に限り作動し、通常の Session Initiation Protocol (SIP) の電話のように機能します。Jabber のこのモードでは、プレゼンスおよびインスタント メッセージング (IM) は使用できません。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco IOS® バージョン 15.3(3)M 以降を実行している Integrated Services Router Generation 2 (ISR G2) ルータ
- Jabber ソフトウェアと互換性のあるオペレーティングシステムを持つ PC。「[Cisco Jabber for Windows 9.2.x インストールおよび構成ガイド](#)」の要件を確認してください。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

設定

注: このセクションで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

HTTPS 設定

Cisco Jabber が動作するには HTTPS が必要です。そのため、ユーザが Jabber のエンドポイントにログインできるように、まず CME で HTTPS サーバを設定する必要があります。

```
CME(config)#ip http secure-server
CME(config)#ip http secure-port 8443
```

音声レジスタ プールの設定

このセクションでは、Jabber のエンドポイントが登録するプールを設定します。

```
CME(config)#voice register dn 1
CME(config-register-dn)#number 9999

CME(config)#voice register pool 1
CME(config-register-pool)#id device-id-name J4W
CME(config-register-pool)#type Jabber-Win
CME(config-register-pool)#number 1 dn 1
CME(config-register-pool)#dtmf-relay rtp-nte
CME(config-register-pool)#username 9999 password 9999
CME(config-register-pool)#codec g711ulaw
CME(config-register-pool)#no vad
```

SIP CME の設定変更の適用

これは自動プロセスではないため、すべての SIP 電話でプロファイルを削除して作り直す必要があります。

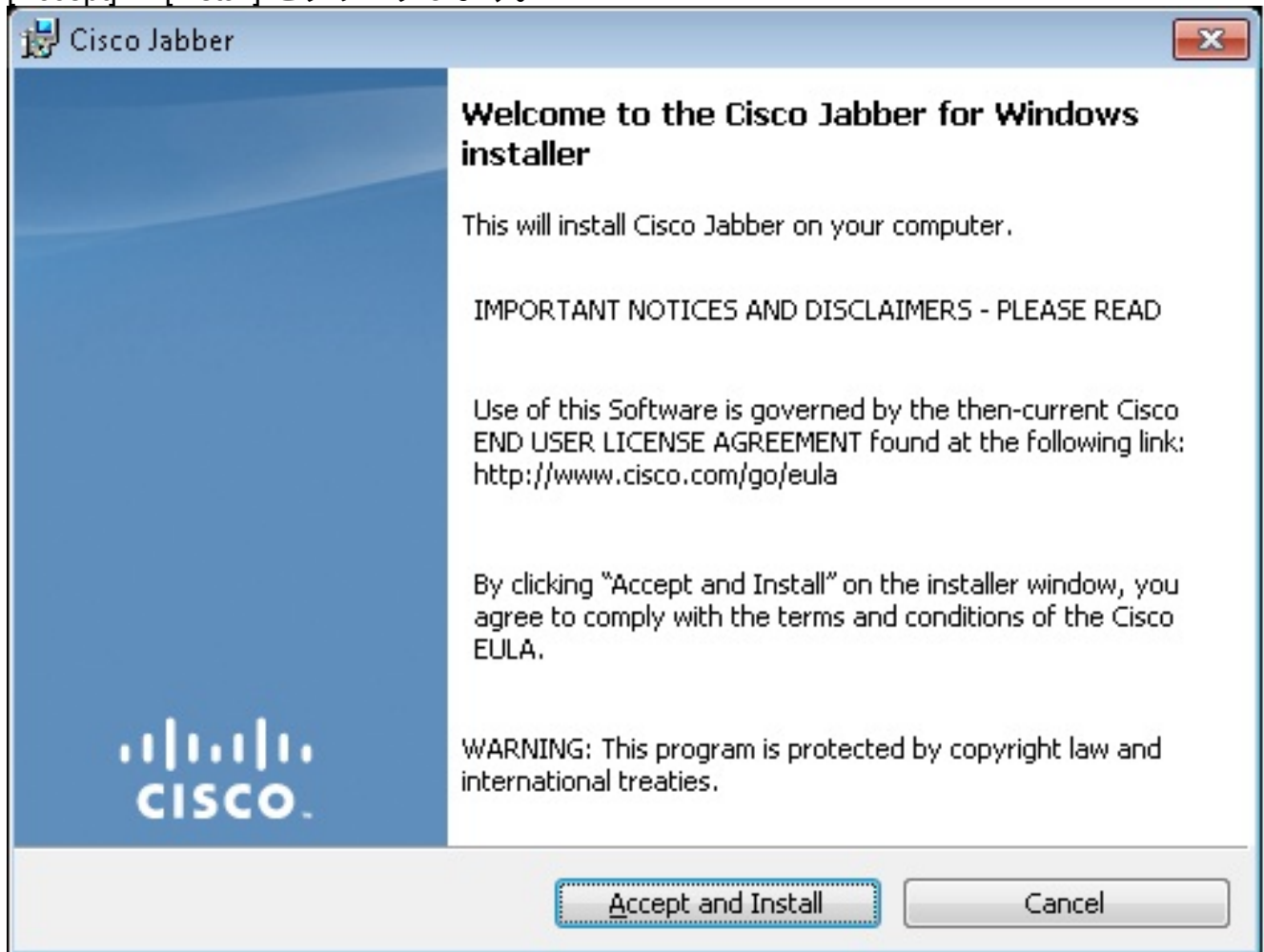
```
CME(config)#voice register global
CME(config-register-global)#no create profile
CME(config-register-global)#create profile
```

注: 音声レジスタ グローバルは **fttp-path flash:** コマンドを含む必要があります。これにより、Jabber SIP 電話のフラッシュ上で設定ファイルが作成されることを確実にします。このコマンドがなければ、Cisco Jabber は、CME に登録できません。

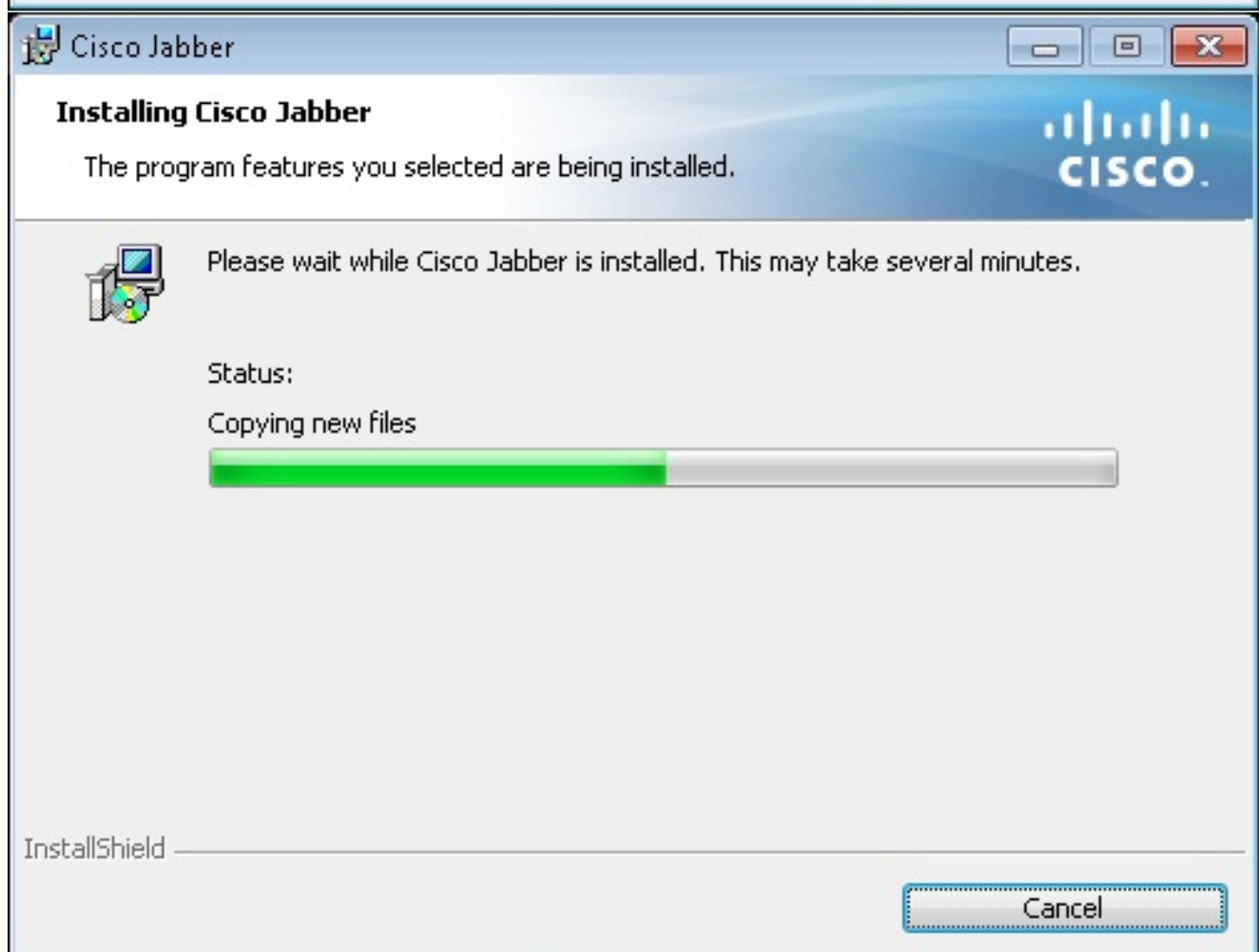
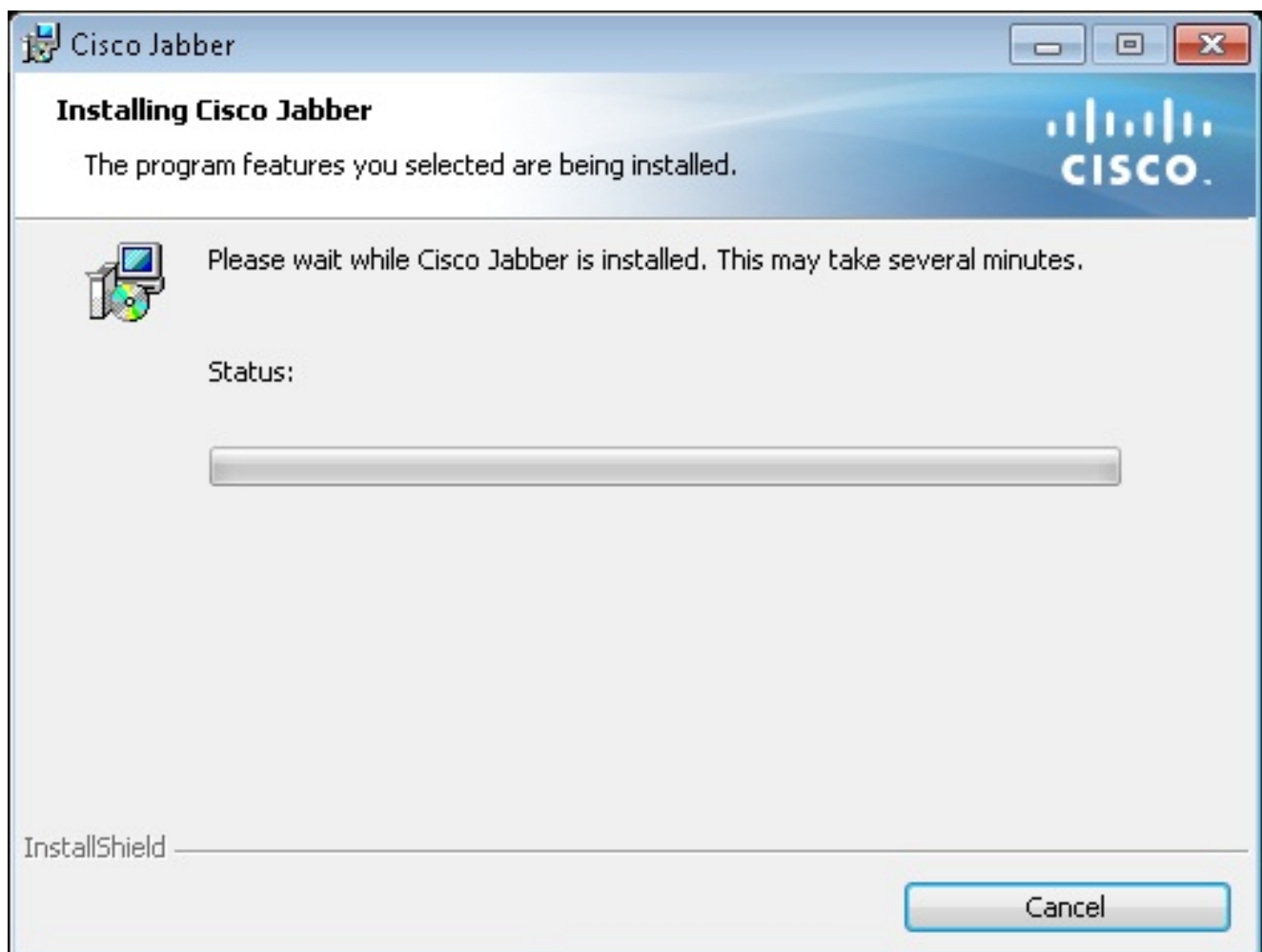
Jabber for Windows のインストール

Jabber をインストールするには、次の手順を実行します。

1. [シスコの Web サイト](#) からインストーラをダウンロードし、インストール ウィザードを使用してインストール プロセスを開始します。
2. [Accept] と [Install] をクリックします。



3. インストールが完了するまで待ちます。

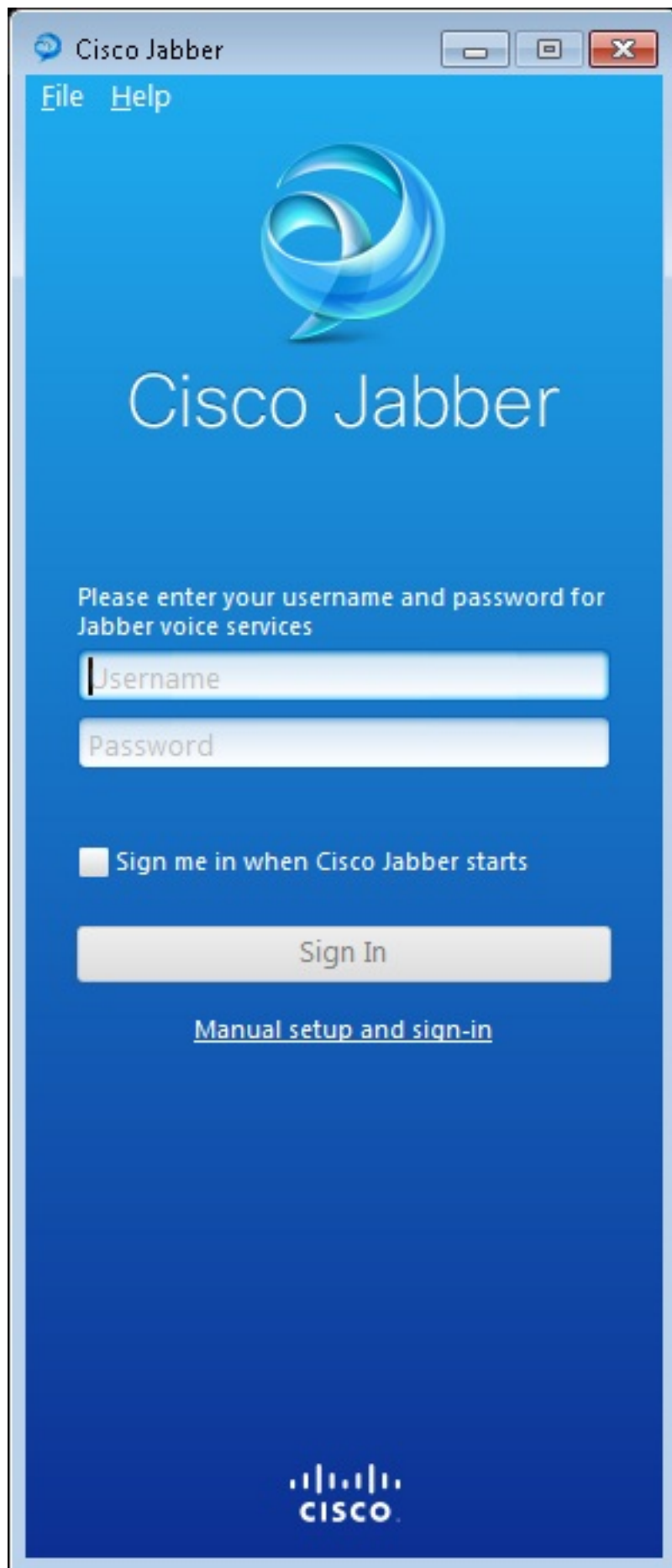


4. [Finish] をクリックします。



Jabber へのログイン

1. Jabber をインストールして起動したら、ユーザ名とパスワードを入力してログインします



2. TFTP および CME サーバを設定します。

Manual setup and sign in

Select your account type:

- Automatic
- Cisco IM & Presence
- WebEx Messenger
- Cisco Communications Manager (phone capabilities only)

Login server:

- Use the default servers
- Use the following servers

TFTP server: 192.168.105.21

CTI server:

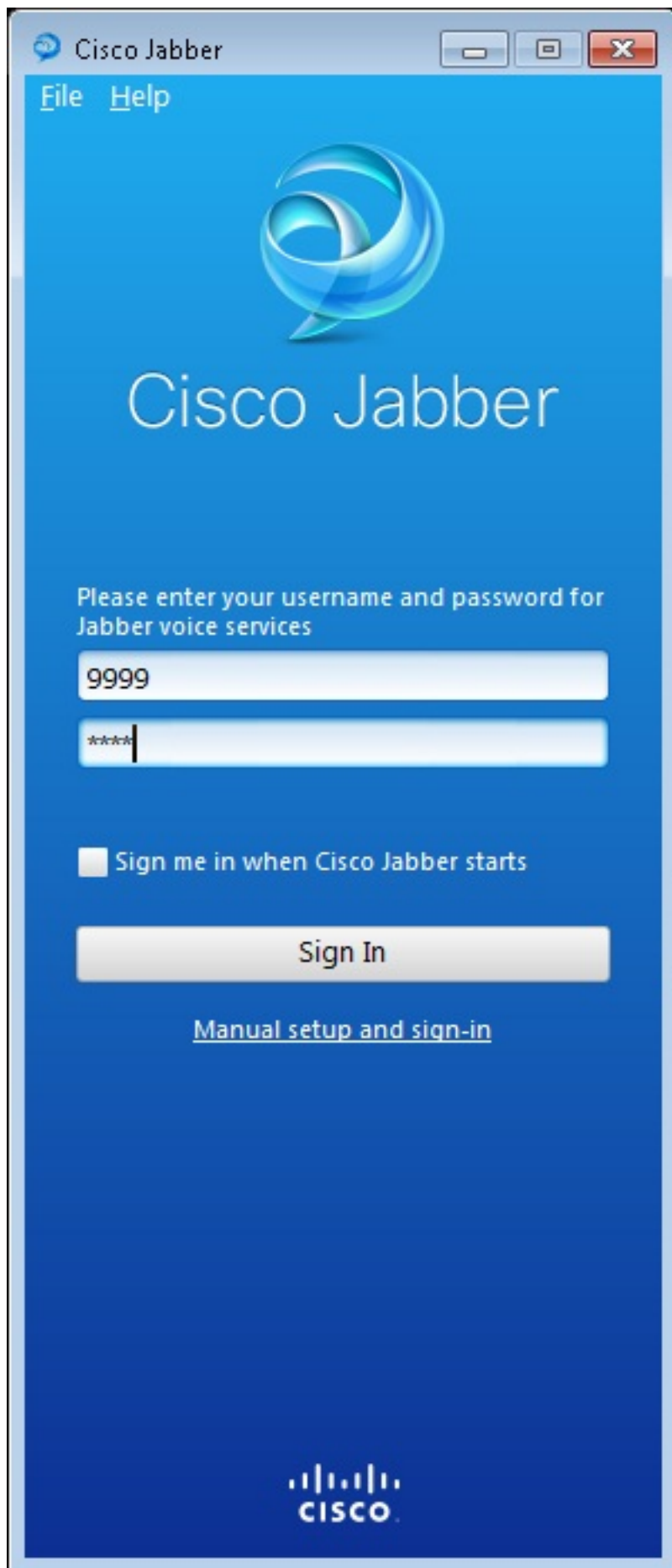
CCMCIP server: 192.168.105.21

Save Cancel

Manual setup and sign-in

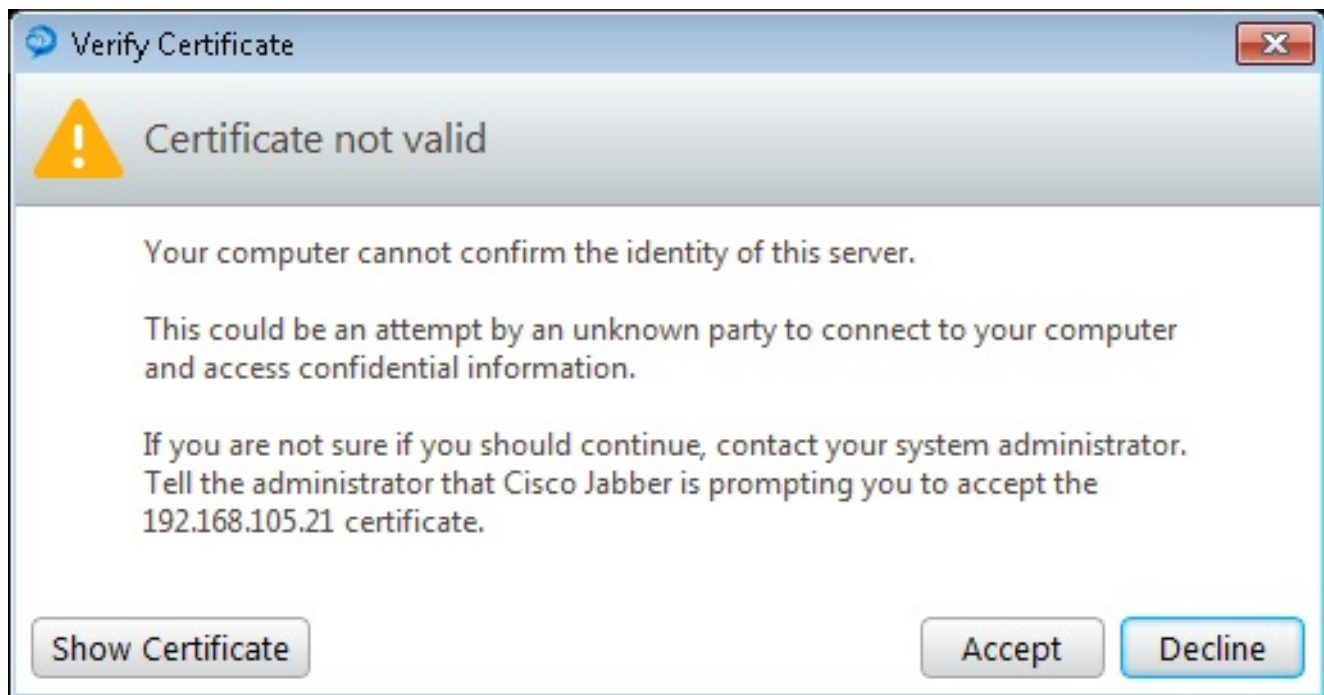
CISCO

3. 音声レジスタ プールで設定したユーザ名とパスワードを入力して、[Sign In] をクリックしま

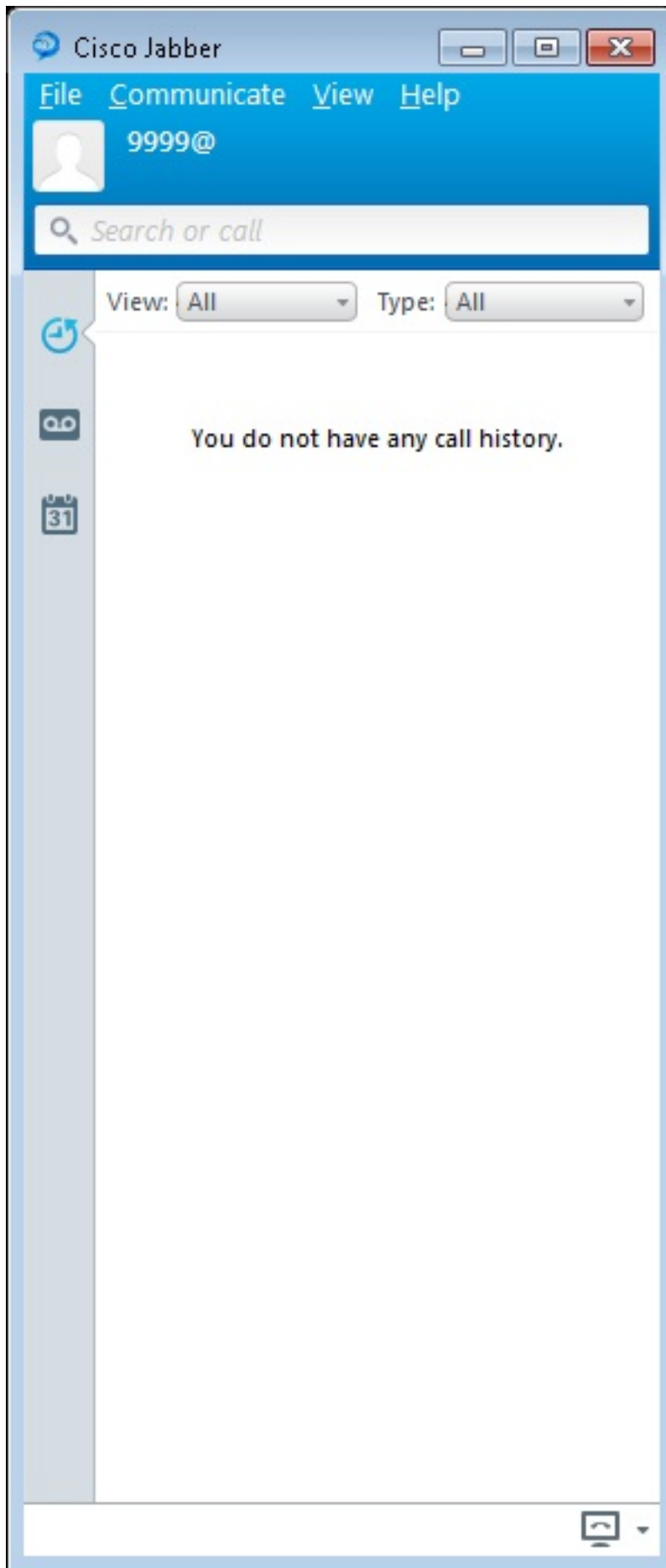


す。

4. CME からの自己署名証明書に関するアラートがポップアップで表示されます。[Accept] をクリックして証明書を承認し、Jabber の認証とログインを許可します。

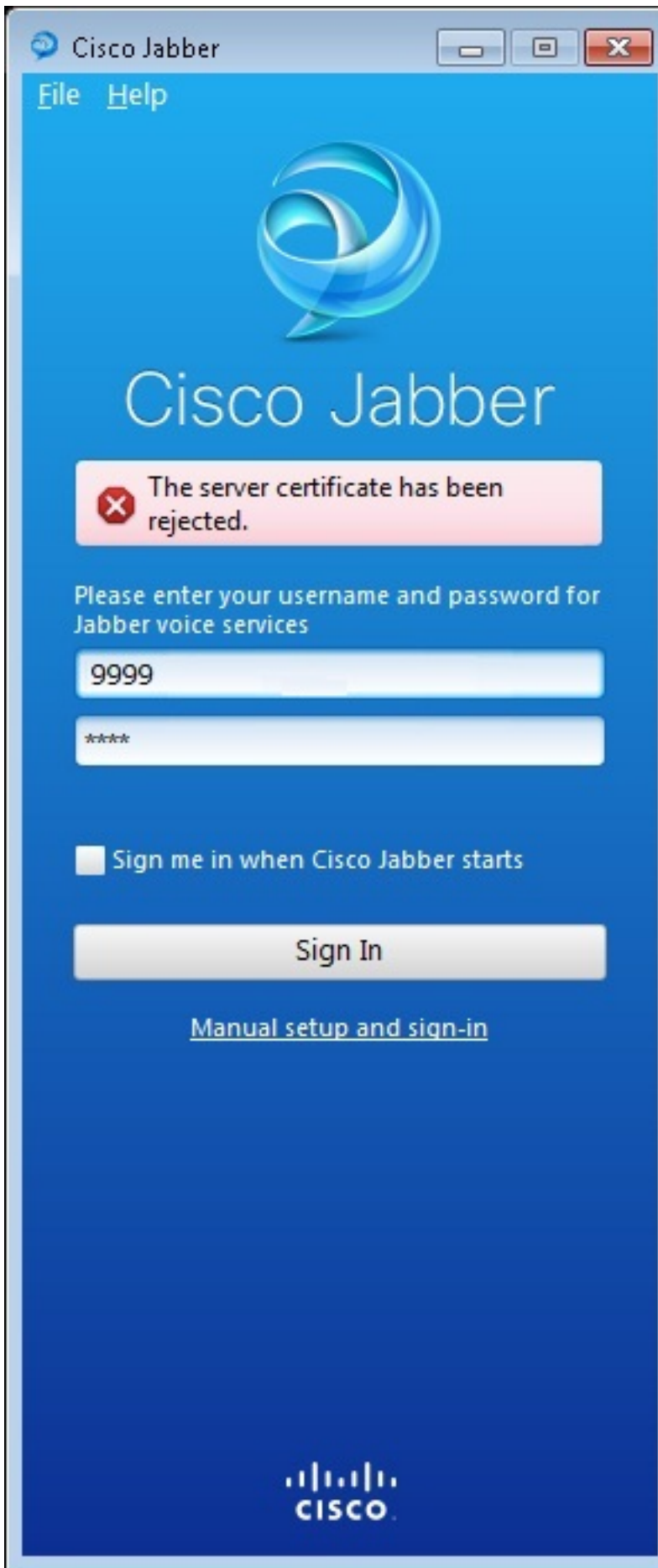


Jabber for Windows を使用して発信および受信する準備ができました。



既知の問題：証明書エラー

Jabber にログインしようとする時、証明書についてのエラーメッセージが表示されます。



この出力を取得するには、`debug ip http all` コマンドを入力します。

```
CME(config)#voice register global
```

```
CME(config-register-global)#no create profile
CME(config-register-global)#create profile
```

解決策

上記の出力からわかるように、HTTPS 証明書に問題があります。

この問題を解決するには、CLI にログインして HTTPS 設定コマンドを削除します。また、HTTPS の CME によって生成された自己署名証明書を削除します。

```
CMEconfig)#no ip http secure-server
CME(config)#no ip http secure-port 8443
CME(config)#no crypto pki certificate chain TP-self-signed-3120869618
This will remove all certificates for trustpoint TP-self-signed-3120869618
Are you sure you want to do this? [yes/no]: yes
```

次に、HTTPS 設定を再設定し、新しい自己署名証明書が作成されたことを確認します。

```
CME(config)#ip http secure-server
CME(config)#ip http secure-port 8443
```

```
CME(config)#ip http secure-server
CME(config)#ip http secure-port 8443
```

その後、Jabber は CME に登録できるようになります。

注意

音声レジスタプールの下で Cisco Jabber クライアントを設定する新しい電話タイプ "Jabber-CSF-Client" が追加されました。これは、クライアント サービス フレームワーク (CSF) ベースの Cisco Jabber クライアントの設定に使用できます。CME バージョン 10.0 では、Cisco Jabber クライアントの設定には、タイプ "Jabber-Win" が使用されます。CME バージョン 10.5 ではこのタイプは廃止され、新しい "Jabber-CSF-Client" を Cisco Jabber クライアントの設定にも使用する必要があります。

詳細については、[Cisco Jabber のサポート](#) [英語] を参照してください。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [Cisco Jabber for Windows](#)

- [Cisco Unified CME 機能のロードマップ](#)
- [『Cisco Jabber for Windows 9.2.x インストールおよび設定ガイド』](#)
- [Cisco Unified CM and Cisco IOS Software Version Compatibility Matrix](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)